



○ 県立恐竜博物館の地元の安全安心について  
○ 勝山市庭球場の暑さ対策について

その他の質問

- ・ピロリ菌の検査について ・国民健康保険税の納税通知書の送付時期と納期限について ・スマホで使える障害者手帳アプリについて



安岡孝一 議員  
新風会・公明

議 県立恐竜博物館はリニューアルオープン後、大変な賑わいをみせている。全国の観光地では、インバウンド観光が加わり、オーバーツーリズムが問題化している。博物館でも渋滞を避けようと、五本寺、黒原の農道に観光客が車を取り入れており、地元住人との事故等を未然に防止するため交通規制や案内板等が必要ではないか。地元の方のご理解のもと、安全安心の持続可能な観光地となっていくことが大切であると考えているが、市の所見を伺う。

理 市では、ホワイトザウルス前の交差点、市道から黒原集落へ入る二差路に観光客の方が間違えて進入しないために固定の案内看板の設置費用を9月補正予算案に計上している。景観に配慮する観点から、固定案内看板は2か所にして、間違いやすい場所には、その都度仮設の看板を設置していきたい。

議 成器西小学校南側の勝山市庭球場が改修され、使用者の念願であった人工芝コート4面が整備され、ナイター設備も整っている。しかし、今夏の暑さが危険の領域を超えて、テニスコートに日よけがないと、練習や試合が満足にできない状態にある。また、防風ネットがその暑さに拍車をかけている。夏の酷暑に対処するため、テニスコート内と審判台に日よけの設置をお願いしたい。市の所見を伺う。

理 現在、勝山市庭球場には日よけの場所は無く、大会時には成器西小学校体育館の壁の部分とか、個人的に簡易テントを持参して休んでいるとお聞きしている。他市ではクラブハウスなど整備されている庭球場もある。勝山市庭球場では、残念ながらクラブハウスのような施設を整備できずスペースがないので、簡易的なもので日よけができないか、他の施設などの事例も参考に検討していく。

また、利用者にはこまめな水分補給や休憩等、熱中症対策についても周知を図ってきたい。



○ 農業政策について  
○ 地域公共交通について

その他の質問

- ・高齢者支援について ・介護人材について



竹内和順 議員  
新風会・公明

議 昨年、今年と2年連続の大雨に見舞われ、農地は大打撃を受けたが、その原因は特に河川付近の農業用水路にあると考える。整備されてあった用水路が崩壊、コンクリート構造物で整備されてしまっている。一時しのぎの整備ではなく、抜本的な整備が必要と考えるが、市の見解を伺う。

理 昨年8月、本年7月に発生した大雨災害では、農業用水路に流れ込んだ岩、土砂等が堆積するなどの被害も多数発生している。

水稲が水を必要とする本当に大切な時期に発生した緊急事態に、稲の生育に支障が生じないよう、できる限り迅速な取組を実施した。

市内の農業用水路は、昭和時代に整備されたものが多く、全体的に相当老朽化が進んでいる。今後、こういった大雨災害にかかわらず、順次更新が必要になってくると思っている。更新の際には、今回の災害から得た知見を生かし、県営土地改良事業の採択をいただき、再被災防止や機能強化を図ってきたい。

移動できることをどの世代も誰もが願うことと思う。福井県は車中心の社会であり、車がなければ何もできないという思いは強いかと思う。「交通権」を市民の権利と位置づけるならば、「移動の自由」を公共交通が保障する社会を目指すことは重要なことと考える。勝山市の地域公共交通計画の考えを伺う。

理 地域公共交通を持続可能なものとするため、フルデマンドバスの路線拡大、自家所有償旅客運送導入の可能性、予定されている新中学校スクールバス運行と整合性を図りながら進めていきたい。

計画中の評価指標でえちぜん鉄道は、観光需要の回復や北陸新幹線福井駅・敦賀駅開業を見据えている。また、コミュニティバスは、利用者増加に向け、今後の観光客の増加やフルデマンドバスの路線拡大を見込んでいく。

ふくい嶺北連携中都市圏においては、新たに各市町間を連絡する公共交通網の構築はできていない。

今後とも利用者寄り添った公共交通を目指し、利用環境の改善に努めていく。